

使用できるレンズ

CPUレンズ（IXニッコールを除く）をおすすめします。特にGタイプ、Eタイプ、Dタイプレンズは、カメラの機能を最大限に引き出すことができます。

レンズ	モード	フォーカスモード		撮影モード		測光モード			
	AF (オートフォーカス)	M (フォーカスエイド) ※1	M	M以外	☑		☑ / ☑ ※2	☑*	
					3D-RGB	RGB			
Gタイプ※3、Eタイプ※3、Dタイプ※3、AF-S、AF-P、AF-Iのレンズ	○	○	○	○	○	×	○	○	
PC-E NIKKOR シリーズ※4,5	×	○※6	○	○	○	×	○	○	
PC NIKKOR 19mm f/4E ED※5,7	×	○※6	○	○	○	×	○	○	
PCマイクロ 85mm F2.8D※8	×	○※6	○	×	○	×	○	○	
AF-S/AF-Iテレコンバーター	○※9	○※9	○	○	○	×	○	○	
Gタイプ、Dタイプ以外のAFレンズ (F3AF用を除く)	○	○※10	○	○	×	○	○	×	
AI-Pニッコール	×	○※11	○	○	×	○	○	×	

☑=マルチパターン測光、☑=中央部重点測光、☑=スポット測光、☑*=ハイライト重点測光

- ※1 M (マニュアルフォーカス) は全てのレンズで使用可能です。
- ※2 フォーカスポイントの選択によりスポット測光エリアの移動が可能。
- ※3 このカメラはVRレンズのVR (手ブレ補正) 機能に対応しています。
- ※4 PC-E NIKKOR 24mm f/3.5D EDを装着してレボリング操作をすると、レンズのシフトノブがカメラボディーに接触する場合があります。また、シフトおよびレボリングの組み合わせによっては、レンズとカメラボディーが接触して操作が制限される場合があります。
- ※5 アオリ操作をしているときは適正露出になりません。
- ※6 アオリ操作をしていない場合のみ可能。
- ※7 シフトおよびレボリングの組み合わせによっては、レンズとカメラボディーが接触して操作が制限される場合があります。
- ※8 アオリ操作をしているとき、または開放絞り以外のときは適正露出になりません。
- ※9 合成絞り値がF5.6以上明るい場合に使用可能。
- ※10 AF80–200mm f/2.8S、AF35–70mm f/2.8S、AF28–85mm f/3.5–4.5S (New)、AF28–85mm f/3.5–4.5Sレンズを使用し、ズームの望遠側かつ至近距離で撮影した場合、ファインダースクリーンのマット面の像とフォーカスエイドのピント表示が合致しない場合があります。このような場合は、ファインダースクリーンのマット面を利用してピントを合わせて撮影してください。
- ※11 開放F値がF5.6以上明るいレンズのみ使用可能。